

とめよう原発！かごしまの会・緊急役員会

＊日 時 … 2018 年 8 月 10 日（金） 19 時～20 時 30 分

＊会 場 … 県教育会館 3 階会議室

＊出 席 … 平良、向原、野呂、杉原、井上、白澤、松崎、榆田、野崎、
梅北、小柴、有馬、山崎、福田、木下（夫妻）、赤星、盛園

1. 本日の緊急役員会の趣旨について

政治団体「とめよう原発！かごしまの会」は、先の知事選において、代表である平良行雄が知事選挙の活動母体として、また、政治資金の受け皿として発足しました。しかし、公示直前に三反園知事候補と原発政策をめぐる協定を結んだことにより平良行雄は立候補を取りやめ、この政治団体が三反園知事の公約や政策協定の履行の請求、次期知事選の候補者選定など、会の目的と実効性を担って、現在までの活動を進めてきたところです。

しかし、代表である平良行雄が来年の県議会議員に政党から立候補することとなり、知事選のためである政治団体が今後も平良行雄代表であることはこの会の目的を踏み外すことになると考えざるを得ません。

一方では、三反園知事は政策協定をほとんど無視し、会と行雄と面談もことごとく無視してきています。川内原発の再稼動を実質容認しているばかりか、保安林を解除して3号機立地予定地とほぼ同等の工事が進んでいるという事態が起きています。「とめよう原発！かごしまの会」の役割はますます重要になってきています。

そこで、①次期代表を選んで政治団体として存続させるのか、②市民団体に衣替えをして会の趣旨を継続していくのか、あるいは③会を発展的に解消するのかなど、今後の方向性の判断を早急にしなければならない段階にきています。

本日の緊急役員会設定は前回の役員会で確認しました。上記の方向性を集約して、臨時総会などで会員に周知をして結論を導く必要となっています。

忌憚のない前向きな協議をお願いいたします。

《議 題》

1. 川内原発および県知事をめぐる最近の状況

(1) 7月の県知事要請

＊要請文参照

(2) 川内原発3号機増設疑惑

＊会報参照

(3) その他

3. 県議選立候補に至る経緯

＊口頭報告

4. 代表の県議選立候補に伴う問題点のまとめ

- (1) そもそも、この政治団体は知事選をたたかうために結成されたものであり、代表が特定の政党から県議として立候補するとなると、この団体が候補者（特定政党公認候補）の後援団体になってしまう。
- (2) 今まで、三反園知事に対して、この会で公約や政策協定の履行要請活動を重ねてきたが、不誠実な知事対応に今後もこの課題は残っている。
- (3) 次期知事選に向けた対応を協議する場をどうするか？
- (4) 財政状況、その他

5. 今後の会の方向性

前回の役員会で、緊急役員会で協議する3つの方向性を確認しました。

A案・・・代表の交代をして政治団体として残す。

B案・・・政治団体を解散し、任意団体として活動が続ける。

C案・・・発展的解消で、新たな広範な運動体の再編をめざす。

なお、臨時総会を早急に開くことも含めて検討します。

6. その他